

くまひ

創刊号

2020



ドローン撮影による当院全景写真

病院理念

私たちは、関わった方々から、熊本に熊本泌尿器科病院があって良かったと、
満足・信頼して頂くために存在します

熊本泌尿器科病院情報誌「くまひ」創刊にあたって

医療法人野尻会 理事長 野尻 明弘



理事長 野尻 明弘

1977年熊本大学医学部卒業

日本泌尿器科学会
泌尿器科専門医・指導医

日本透析医学会
日本泌尿器内視鏡学会

COVID-19パンデミック、水害などご対応に大変な時期だと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

この度、「くまひ」という名前で、熊本泌尿器科病院の広報誌を創刊することに致しました。年に2回程発行し、当院の診療内容など広報させて頂く予定ですので、ご一読頂きますよう、宜しくお願い致します。

熊本泌尿器科病院が今まで医業を続けてこられたのは、皆様方のご指導・ご支援のお陰です。心から感謝申し上げます。個人的ではありますが、1972年に父が悪性リンパ腫となり、約1年で亡くなり、私が院長を引き継いだのは30歳の新米医師でした。諸先輩方から励まし、支えて頂きましたことを、今でも感謝し、忘れることは出来ません。

現在、井院長（四代目院長）の元、泌尿器科は前立腺肥大症に対する内視鏡手術、尿路結石に対する体外衝撃波破碎術・内視鏡手術、女性泌尿器科としての腹圧性尿失禁・骨盤臓器脱手術などを三本柱として、血液透析科は「元気で長生き」を目指し、長時間・夜間・深夜血液透析を行っております。

実は、今年7月救急指定医療機関の指定を取り下げました。しかし、当院にかかられている患者さんは勿論、泌尿器科専門病院として皆様方からご紹介して頂ける患者さんに関しては、これまで同様に時間外でも対応させて頂きます。深夜・休日でも構いませんので、ご相談頂ければ幸いです。

今後は、ご紹介頂いた患者さんの病状・対応方法をきちんとご報告し、ご迷惑でなければ患者さんをお返しするなど、より紹介しやすいシステムを作り、これまで以上に皆様方からご紹介して頂ける医療機関を目指して参ります。お気付きの点などございましたら、直接私か医療連携室にご一報頂きますようお願い致します。

また、専門外の疾患に関して、今後ご相談・ご紹介させて頂くことも多いと思いますので、その際は宜しくお願い申し上げます。



〈表紙病院配置図〉

Contents

- ・ 表紙 P1
- ・ 創刊にあたって P2
- ・ 新任医師紹介 P3
- ・ 特集 ～当院における女性泌尿器科手術～ P4.5
- ・ 部署紹介 P6
- ・ 教育関連施設について P7
- ・ お知らせ P8

新任医師紹介(常勤医師)

診療部 麻酔科医師 じょう よしか 城 嘉孝



日本麻酔科学会 麻酔科指導医・専門医
日本集中治療医学会 集中治療専門医
日本蘇生学会 日本蘇生学会指導医

【経歴】

平成 元年 3月 熊本大学医学部卒業
平成 2 年 4月 熊本大学医学部附属病院麻酔科研修医入職
平成 4 年 1月 熊本赤十字病院麻酔科研修医入職後
研修修了し入職
平成 7 年 7月 山鹿市立病院麻酔科入職
平成 9 年 1月 熊本大学医学部附属病院救急部・
集中治療部入職
平成10年 4月 熊本市立熊本市市民病院麻酔科入職
平成28年 9月 JCHO 人吉医療センター麻酔科入職
令和 2年 3月 JCHO 人吉医療センター麻酔科退職
令和 2年 4月 熊本泌尿器科病院入職

ご挨拶

はじめまして。本年度より入職することになりました麻酔科の城嘉孝です。

さて、麻酔科医となって30年あまりの時間がたちました。そのうち約半分の期間は手術室での麻酔業務を行ってきましたが、残りの約半分は集中治療医・救急医をしておりました。

麻酔業務としては、熊本赤十字病院時代に外傷外科や消化器外科の緊急手術の麻酔を、熊本市市民病院時代に小児麻酔や産科麻酔を学ばせていただきました。特に、小児心臓外科や体重1000g未満の超低出生体重児の麻酔、超緊急帝王切開の麻酔などは常に緊張状態のなかでの麻酔経験でした。

本年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行を受けて、人工呼吸器管理や体外式膜型人工肺(ECMO)という言葉が報道によって知られるようになりました。このような方法を用いて重症の患者さんの治療を行っているのが集中治療医です。私自身は集中治療医として心臓外科や胸部外科などの大手術後の術後管理を多く経験してきました。このような大手術後の患者さんの中には急性腎障害(AKI)を来たして、持続的腎代替療法(CRRT)を行ったこともありました。その際には、当院でも活躍されている腎臓内科の先生方や臨床工学技士の方たちとともに治療に当たってきました。

最後に、当院に入職して一番驚かされたことは泌尿器科手術の進歩です。その進歩に追いつくように精一杯頑張っていきたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

当院における 女性泌尿器手術

熊本泌尿器科病院 院長 井 秀隆



院長 井 秀隆



泌尿器科医長 谷川 史城

2018年2月から女性泌尿器科疾患外来を開設しております。
担当医は井(院長)と谷川(泌尿器科医長)です。
主に尿失禁と骨盤臓器脱を扱っております。

診療時間：毎週水曜日 15:00～17:30

■2019年女性泌尿器科疾患手術統計■

術式	症例数
腹圧性尿失禁手術:TOT/TVT	38
骨盤臓器脱手術	45
仙骨神経刺激装置植込み術	1
間質性膀胱炎水圧拡張術	8

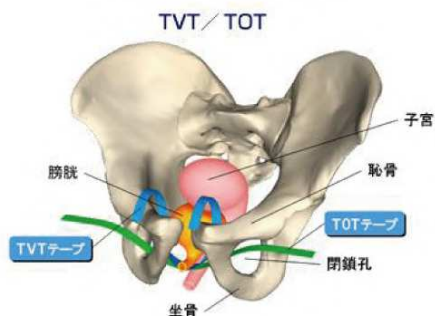
■尿失禁手術■

腹圧性尿失禁手術はTOT法を主体に行っています。再発例や重度の場合は時々TVT法も行っています。尿失禁根治率は約9割です。

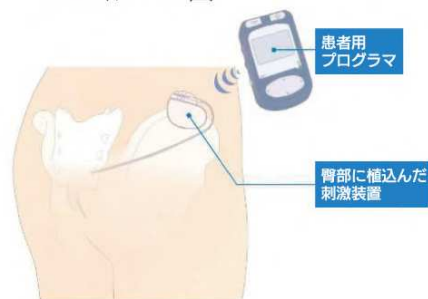
切迫性尿失禁はまずは薬物療法を行います。薬物療法が無効の難治性切迫性尿失禁に対しては2018年1月から仙骨神経刺激療法(SNM)を開始しています。仙骨孔を穿刺し、リードを仙骨神経に沿って留置し、電気刺激装置を植え込む手術です。装置が金属のため、MRI撮影ができなくなる欠点もあり、症例数は伸び悩んでいます。2020年6月からはボツリヌス毒素療法(ボトックス膀胱壁内注射)を開始しました。難治性切迫性尿失禁に対して、今年4月から保険で、手技料が認められるようになった治療です。

現在、日本で薬物が無効の難治性切迫性尿失禁の治療法は、SNMかボツリヌス毒素療法のみしかありません。当院では両者に対応しています。

TOT/TVTイメージ図



SNMイメージ図



■骨盤臓器脱手術(2019年)■

術式	症例数(割合)
TVM 単独	19 (42%)
NTR 単独	15 (33%)
TVM+NTR 併用	8 (18%)
LSC	3 (7%)
計	45

当院では骨盤臓器脱の手術は、メッシュを使用する方法と非メッシュ手術(NTR:native tissue repair)の両者を行なっています。メッシュ手術は経膈メッシュ手術(TVM)と腹腔鏡によるメッシュ手術(LSC:腹腔鏡下仙骨膈固定術)を使い分けています。

子宮や膈尖部の固定は仙骨方向への支持(レベル1支持)が必要ですが、経膈手術の場合は当院では仙棘靱帯穿刺針のCapio®デバイスを使用して、子宮や膈断端を仙棘靱帯に固定しています。

<当院での術式選択>

- ① メッシュを使用する場合は性生活が有る場合はLSCを選択、性生活がない場合はTVM
ー経膈手術の場合ー
- ② 80歳前後で脱が著明な場合は、膈閉鎖術(部分閉鎖術、全膈閉鎖術)
- ③ 経膈手術では膈後壁には原則メッシュを置かない(例外は小腸瘤)、直腸瘤は後膈壁形成術選択
- ④ 膈断端脱は、小短冊形のメッシュで、仙棘靱帯に固定、又はエレベート型TVMで膈断端と膀胱を同時に固定
- ⑤ 子宮脱は、エレベート型TVMで子宮膀胱を固定、又は、子宮のみU字型の小メッシュで仙棘靱帯に固定し、膀胱の脱の程度に応じて、前膈壁形成術を併用するか、膈前壁TVM(A-TVM)を併用
- ⑥ レベル1の支持が問題なく、膀胱瘤が重度でない場合は、前膈壁形成術を選択

欧米ではTVMが禁止され、日本でも以前に比べると減少傾向となっています。当院でもメッシュを使用せずとも問題なく施行できそうな場合は、NTRを併用し、LSCも取り入れ、TVM以外の手術も増加傾向です。

LSCは2018年1月から開始し、2020年6月現在10症例になりました。今後は、NTR術式のオプションを増やす事が必要かと思っています。

Capio®デバイス



エレベート型 TVM



LSC



【院長 井 秀隆】

1980年 九州大学医学部卒業
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医
日本透析医学会
日本女性骨盤底学会
日本排尿機能学会

【泌尿器科医長 谷川 史城】

2000年 熊本大学医学部卒業
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・指導医
がん治療認定医
日本泌尿器内視鏡学会、日本透析医学会
日本女性骨盤底学会

技術部 栄養科

(熊本泌尿器科病院の食事について)

当院の病院給食は、熊本産の新鮮な野菜・果物を中心に使用しています。「産地・鮮度にこだわる」ことは、安心・安全な給食を提供するため大切なことである、と私たちは考えています。

写真は当院の給食の一部です。厚生労働省が定める「日本人の食事摂取基準」に基づき、献立を作成しています。メニューは既製品をほとんど使用しておらず、これらの新鮮な野菜を使った「手作り」にこだわった給食を提供しています。



(季節の行事食)



入院中でも季節感を味わっていただけるよう旬の食材を取り入れ、月に1回松花堂弁当をお出ししています。



(シェフの日)



月に1回、フレンチシェフによるシェフの日メニューをお出ししています。フレンチシェフが、メニューを考案し病院食の制限内ではありますが、本格的なフレンチをお出ししています。

また、外来透析患者さんにお誕生日御祝い膳も作成しています。

(栄養サポート活動 日本静脈栄養学会認定 NST 稼働施設)

当院は2007年に日本静脈栄養学会認定 NST 稼働施設に認定され、週に1度のNST回診、月に1度の症例検討会を行っています。NSTは、医師、看護師、薬剤師、言語聴覚士、社会福祉士、臨床工学技士、管理栄養士により構成され、各々の知識や技術を持ちより栄養支援を行なっています。

厳密な栄養管理を必要とされる患者さんに対して、多職種連携による栄養サポート活動を行なっています。



一般社団法人日本透析医学会 教育関連施設認定について

診療部 腎臓内科医師 梶原 奈央

平素より大変お世話になっております。熊本泌尿器科病院腎臓内科の梶原奈央です。

当院の透析部門をご紹介させていただきます。当院では基幹病院からご紹介いただいた維持透析の患者様だけでなく、当院の CKD 外来からのスムーズな導入を目標に、慢性腎不全の保存期から介入を行なっております。導入後も基幹病院や近隣の先生方と連携を取りながら、各種合併症に応じた全身管理を行ない、よりよい医療の提供に努めております。また、当院は昨年、日本透析医学会から済生会熊本病院の教育関連施設として認定されました。以前から行なっていた週に 1 回の症例検討会では、薬剤科・栄養科・リハ科など多職種のスタッフも交えながら、より一層、患者様の病態、社会背景等を踏まえた議論を行なっております。深夜血液透析や腹膜透析等も行い、患者様と地域のニーズに応じた医療を提供できる施設を目指しておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



透析センター北館



透析センター南館



【梶原 奈央】

2010年 熊本大学医学部卒業
日本腎臓学会腎臓専門医
日本透析医学会透析専門医
日本内科学会認定内科医

■概要

- 名 称 医療法人野尻会 熊本泌尿器科病院
- 院 長 井 秀隆
- 住 所 熊本市中央区新町 4 丁目 7 番 22 号
- 連絡先 電話番号：096-354-6781 / FAX 番号：096-355-0231
- 診療科 泌尿器科・泌尿器科(人工透析)・腎臓内科・皮膚科・男性性感染症外科・麻酔科
- 病 棟 一般病棟：東病棟 28 床 ・療養病棟：西病棟 24 床
- 透 析 ベッド数：98 床（うち個室 5 床）・深夜透析・無料送迎
- 職員数 248 名（常勤・非常勤・パート含む） ※2020 年 5 月 30 日現在

■診療案内

診療科	泌尿器科		腎臓内科		皮膚科	
時間帯	午前	午後	午前	午後	午前	午後
月	○	○				○
火	○	○				
水	○	○	○	○		○
木	○					
金	○	○	○			○
土	○		○			



当院では、女性泌尿器科外来にも力を入れています(毎週水曜午後)

■周辺地図



東館正面玄関(外来入口)



病院の詳しい情報は
ホームページでご覧頂けます。

熊本 泌尿器科

検索



【内容に関するお問い合わせ先 経営戦略室】